

各 位

株式会社 HEXEL Works  
 経理部長 松崎正博  
 問い合わせ先：03-3459-3350

## 2019年9月度(第78期)決算ダイジェスト

## ■売上高

42,593百万円

売上高は、前期より増加し42,593百万円(対前期比102.7%)となった。要因として、手持工事が順調に進捗した為である。売上高のうち工事進行基準による計上額は15,269百万円(同103.5%)であり、次年度への繰越工事高は59,368百万円(同107.1%)となった。

## ■営業利益

2,612百万円

## ■経常利益

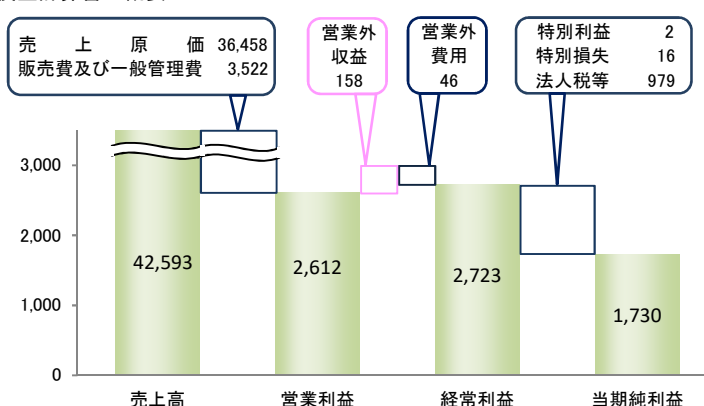
2,723百万円

## ■当期純利益

1,730百万円

損益計算書の概要

(単位:百万円)



利益は、売上総利益が減少したこと等により、営業利益で2,612百万円(対前期比82.7%)、経常利益は有価証券配当金等で、2,723百万円(同82.7%)、当期純利益で1,730百万円(同77.6%)となった。

## ■自己資本比率

57.5%

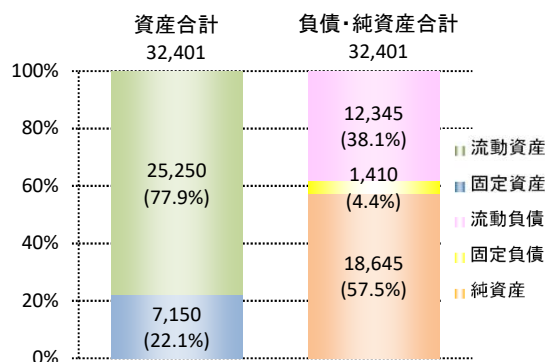
資産は、前期と比べ3,424百万円増加し、32,401百万円となった。増加の主な要因は有価証券等の購入及び南浦和寮取得に伴う土地・建物である。

負債は、前期と比べ1,984百万円増加し、13,756百万円となった。増加の主な要因は仕入債務増加に伴う工事未払金の増加である。

純資産は、前期と比べ1,440百万円増加し、18,645百万円となった。増加の主な要因は利益剰余金の増加等である。

貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## ■キャッシュフロー

「営業活動によるキャッシュフロー」は、主に事業収支が引き続き堅調に推移したことによって資金が増加となった。

「投資活動によるキャッシュフロー」は、主に有価証券の取得により資金が減少となった。

「財務活動によるキャッシュフロー」は、配当金支払により資金が減少となった。

結果、前期末より874百万円資金が増加となった。

| 現金及び同等物<br>第77期 期末残高 | 営業活動CF | 投資活動CF  | 財務活動CF | 現金及び同等物<br>第78期 期末残高 |
|----------------------|--------|---------|--------|----------------------|
| 9,287                | 4,112  | ▲ 3,037 | ▲ 199  | 10,162               |

(単位:百万円)